

○文部科学省令第十三号

学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第五十二条、第五十九条（第七十条第一項及び第八十二条において準用する場合を含む。）、第六十八条及び第七十七条の規定に基づき、学校教育法施行規則の一部を改正する省令を次のように定める。

平成三十年三月三十日

文部科学大臣 林 芳正

学校教育法施行規則の一部を改正する省令

学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）の一部を次のように改正する。

第八十三条中「総合的な学習の時間」を「総合的な探究の時間」に改める。

別表第三を次のように改める。

別表第三（第八十三条、第八十条、第二百二十八条関係）

(一) 各学科に共通する各教科

各教科	各教科に属する科目
-----	-----------

(二) 主として専門学科において開設される各教科	理数	情報	家庭	外国語	芸術	保健体育	理科	数学	公民	地理歴史	国語
	理数探究基礎、理数探究	情報Ⅰ、情報Ⅱ	家庭基礎、家庭総合	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、音楽Ⅲ、美術Ⅰ、美術Ⅱ、美術Ⅲ、工芸Ⅰ、工芸Ⅱ、工芸Ⅲ、書道Ⅰ、書道Ⅱ、書道Ⅲ	体育、保健	科学と人間生活、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C	公共、倫理、政治・経済	地理総合、地理探究、歴史総合、日本史探究、世界史探究	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究

水産	商業	工業	農業	各教科
<p>水産海洋基礎、課題研究、総合実習、船舶運航、船舶用機関、機械設計工作、電気理論、移動体通信工学、海洋通信技術、資源増殖、海洋生物、海洋環境、小型船舶、食品製造、食品管理、水産流通、ダイビング、マリ</p>	<p>ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス・コミュニケーション、マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス、ビジネス・マネジメント、グローバル経済、ビジネス法規、簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク活用、ネットワーク管理</p>	<p>工業技術基礎、課題研究、実習、製図、工業情報数理、工業材料技術、工業技術英語、工業管理技術、工業環境技術、機械工作、機械設計、原動機、電子機械、生産技術、自動車工学、自動車整備、船舶工学、電気回路、電気機器、電力技術、電子技術、電子回路、電子計測制御、通信技術、プログラミング技術、ハードウェア技術、ソフトウェア技術、コンピュータシステム技術、建築構造、建築計画、建築構造設計、建築施工、建築法規、設備計画、空気調和設備、衛生・防災設備、測量、土木基盤力学、土木構造設計、土木施工、社会基盤工学、工業化学、化学工学、地球環境化学、材料製造技術、材料工学、材料加工、セラミックス化学、セラミック技術、セラミック工業、繊維製品、繊維・染色技術、染料織デザイン、インテリア計画、インテリア装備、インテリアエレメント生産、デザイン実践、デザイン材料、デザイン史</p>	<p>農業と環境、課題研究、総合実習、農業と情報、作物、野菜、果樹、草花、畜産、栽培と環境、飼育と環境、農業経営、農業機械、植物バイオテクノロジー、食品製造、食品化学、食品微生物、食品流通、森林科学、森林経営、林産物利用、農業土木設計、農業土木施工、水循環、造園計画、造園施工管理、造園植栽、測量、生物活用、地域資源活用</p>	<p>各教科に属する科目</p>

美 術	音 楽	体 育	理 数	福 祉	情 報	看 護	家 庭	
美術概論、美術史、鑑賞研究、素描、構成、絵画、版画、彫刻、ビジュアルデザイン、ク	音楽理論、音楽史、演奏研究、ソルフェージュ、声楽、器楽、作曲、鑑賞研究	スポーツ概論、スポーツⅠ、スポーツⅡ、スポーツⅢ、スポーツⅣ、スポーツⅤ、スポー ツⅥ、スポーツ総合演習	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論、理数物理、理数化学、理数生物、理数地学	社会福祉基礎、介護福祉基礎、コミュニケーション技術、生活支援技術、介護過程、介護 総合演習、介護実習、こころとからだの理解、福祉情報	情報産業と社会、課題研究、情報の表現と管理、情報テクノロジー、情報セキュリティ、 情報システムのプログラミング、ネットワークシステム、データベース、情報デザイン、 コンテンツの制作と発信、メディアとサービス、情報実習	基礎看護、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度、 成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、在宅看護、看護の統合と実践、看 護臨地実習、看護情報	生活産業基礎、課題研究、生活産業情報、消費生活、保育基礎、保育実践、生活と福祉、 住生活デザイン、服飾文化、ファッション造形基礎、ファッション造形、ファッションデ ザイン、服飾手芸、フードデザイン、食文化、調理、栄養、食品、食品衛生、公衆衛生、 総合調理実習	ンスポーツ

	ラフトデザイン、情報メディアデザイン、映像表現、環境造形
英 語	総合英語Ⅰ、総合英語Ⅱ、総合英語Ⅲ、ダイバート・ディスカッションⅠ、ダイバート・ディスカッションⅡ、エッセイライティングⅠ、エッセイライティングⅡ

備考

一 (一)及び(二)の表の上欄に掲げる各教科について、それぞれの表の下欄に掲げる各教科に属する科目以外の科目を設けることができる。

二 (一)及び(二)の表の上欄に掲げる各教科以外の教科及び当該教科に関する科目を設けることができる。

附 則

1 この省令は、平成三十四年四月一日から施行する。

2 改正後の学校教育法施行規則（以下この項及び次項において「新令」という。）別表第三の規定は、施行の日以降高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下この項及び次項において同じ。）に入学した生徒（新令第九十一条（新令第百三十三条第一項及び第百三十五条第五項で準用する場合を含む。）の規定により入学した生徒であつて同日前に入学した生徒に係る教育課程により履修

するものを除く。）に係る教育課程から適用する。

3 前項の規定により新令別表第三の規定が適用されるまでの高等学校の教育課程については、なお従前の例による。